意見・要望など	回答部署	回答
■連絡ツールに関して 現状、大学で使用されているManabaやaiai、クラスルーム、Slackと連絡ツールが多く、使い方や導入用途が分からないので 使い分けのアナウンスを行ってほしい。 学生はManabaの使用頻度が一番多いので現在aiaiでされている連絡などをまとめて統一はできないのか。 Slackに関して、検索したら学籍番号や名前，メールアドレスが全部見えてしまうので，個人情報保護として何かしらの対策をしていただきたい。 理学療法学科の「らくらく連絡網」に関して今は使用されていないのですがどのような位置づけなのか、教えてほしい。	情報システム ・教育機器部会	各種ツールで補える用途が異なるので、これらのツールを使い分けることになる。基本的には、授業関係はmanabaあるいはクラスルーム、履修登録関係はaiai、その他の一般的な連絡事項はSlackに集約していきたいと考えている。 Slackのアカウント表記等については、先行している他大学のアカウントと同様な表記としている。Slackは学生アカウントでログインするので、アクセス記録も残り、匿名性はない。ネットリテラシーを遵守して使用してくいただきたい。 「らくらく連絡網」については、理学療法学科のみ使用しており、各学年への全体連絡や個別連絡に使用している。ただ、各学年の全体連絡や個別連絡はmanabaやslackで可能であり、らくらく連絡網の使用頻度が減少しているのは事実である。今は卒後研修会の案内を送ったりするなど、卒業後も連絡ができるツールとして使用している。
■事務職員の対応に関して 事務職員の対応に関して、窓口と担当者との連携が不足していることで外部への提出書類などがギリギリになってしまい、困ることがあったので、マニュアルなどを作成して、誰でも対応できるようにしてほしい。 また人にとって対応の丁寧さが違うため、統一してほしい。 先生と事務職員で連携が不足しているところがあり、学生の手続きがスムーズに行えないケースがあった。	事務センター	事務職員間および事務職員と教員の間での連携について、Slackなどのシステムも利用し情報共有を図ってきたが、不十分な点もあったことを再認識し、今一度関係性を構築しながら学生の不利益にならないよう努めていく。全員が丁寧に対応できる組織を目指していきたい。
■就職活動に関して 4年生の就職活動に関して学校からの案内が実習が終わってから始まるため〆切が早い病院があったときにスケジュール間がタイトで苦労した。 来年はカリキュラム改変があると聞いたので下級生のことを考えると、1.2年次から全体でのガイダンスなどを始めても良いのではないかと思う。 就職活動の情報収集をする場が少なかったので、上級生に聞けるような場を設けることによって具体的なイメージがつきやすくなると思う。 全体に向けたガイダンスだけではなく、直接教員へ話しかけにくい学生もいるので個別で先生と面談や相談ができるような仕組みがほしい。 昨年の求人実績やどんな試験を受けたのか、など一覧で見れるものがほしい。	学生委員会	就職に関する情報収集は、本年度より「求人検索NAVI」が新しく導入されている。かなり大手の検索サイトなので、全国の求人情報が確認できる。また、本学の先輩方の求人先などの情報も追加されているので、希望先に藍野大学の先輩が就職されているかも確認できる。 就職活動の全体的な流れに関しては、5月頃に「就職の手引き」が配布されていると思う。そのP10に「就職活動の進め方」と言う項があるので参考になるかと思う。 本学では、1・2年次より外部業者（マイナビ・リクナビ）の講座を学科によっては導入している。基本的な接遇に対することから、自己啓発・エントリーシートの書き方など様々な内容である。各学科の就職指導委員の先生に尋ねてみていただきたい。確かに上級生から就活の情報を聞ける機会を作るという案はいいと思う。各学科で実施可能か検討する。 学科全体の事に関しては、各学科の就職指導部会の先生が中心となって実施されていると思う。おそらく個々の学生への対応の関してはゼミ単位での指導になっていると思うので、ゼミの先生と今後の方向性等については相談いただいていいのかと思う。 過去に先輩方が受験した内容については、キャリアセンターにて確認できる。ご参考ください。
■Edyのチャージ方法について 施設内でチャージできる場所がAINOPIAのファミリーマート1つしかないため、とても不便に感じる。昼休みは買い物をする学生とチャージする学生で混雑している。 チャージ機の設置、もしくは他の電子マネーの導入を検討してもらいたい。	事務センター	キャッシュレス化を推進していくため、まず学生証についているEdyで証明書発行機が利用できるようにした。その際チャージ機の設置についてはずいぶん検討したが、学内にチャージ機を設置すると学校として現金を扱うこととなりキャッシュレス化にならないため難しいという判断に至った。チャージについては、登下校の際自宅近くのコンビニ等も利用するなど工夫していただきたい。 他の電子マネーの導入については、証明書発行機についてはシステムの都合上難しい可能性もあるが一度検討する。
■スクールバスに関して ダイヤ変更がわかりにくいため、Manabaなどでの周知を徹底してもらいたい。 朝のバスがすごく混んでいて、特に高校生と被ってしまう時間帯や、8:20、30台の学校への到着時間が読めないので増便、もしくは高校生と分けて運用することはできないか。 夜の時間もサークル終わりにバスがなく、歩いて帰っている状態なので調整してほしい。 AINOPIAでバスを待つときに雨でぬれたり、するため屋根を付けることはできないか。	学部長	朝のバス混雑は171号線混雑が最大要因であり、乗降及び走行時間を考慮するとダイヤ改定では対応しきれない問題がある。高校の始業時間変更は難しいが、一部の講義始まりを2限目にするなどバスの混雑を考慮した時間割について短大と大学で協議する。また、登録許可制、講習会受講義務等が前提条件になるが含めバイク利用について検討する。夜間のバスダイヤ改定については検討する。ダイヤ変更についてはmanabaでの周知徹底を図りたい。AINOPIA屋根設置は高さと落下リスクがあり対応できない。
■Wi-Fi環境に関して MLCの電波が弱くて授業でも支障が出ているのではないか。 A棟、B棟、図書館の個別ブースでの設置を検討してほしい。	情報システム ・教育機器部会	フリーWi-Fii以外に教職員で使用している教職員用Wi-Fiの一部を卒研や講義などでノートPCを使用する場合に、登録許可制でWi-Fiを使用できるようにする方向で考えている。また、Wi-Fi設備については、導入が古い設備から順次更新すると共に、未設置の教室等にも優先順位を考慮しながら設置を行う予定である。
■教室環境と授業に関して 授業によって、後方の席になると後方モニターや、プロジェクターが見えづらく、ポインターや図面のサイズ感がつかめないことがあるので授業が分かりにくい。 すぐに対応できる策として、座席指定を無くすことによって解決できるのではないか。	教務委員会	後方座席にも配慮したパワーポイントの作成や、ポインターの使い方などについて、全ての学生が授業を受けやすいように配慮するよう、教務委員会を通じて全教員に伝え、善処していく。学生の方からも見えにくいなどの問題がある場合は、早めに授業担当者に伝えるか、事務センターなどに申し出ることを勧める。教員の研修会などでも、見やすい授業資料の作成についてなどのテーマを扱っていくことを検討する。 モニター、プロジェクターについては、順次交換を進めている。 座席の変更の希望（目が悪くて見えづらいなど）にも学生の希望に応えるように教務委員会を通じて全教員に伝えるので、学生も申し出ることを勧める。
■教室環境に関して 空調に関して効きがよかったり悪かったりとするため、扇風機や送風機などで調整をしてほしい。 教員のリアルタイムでの在席状況を簡単にわかるようにしてほしい。	事務センター	空調に関しては、一度にすべて更新することは費用面で難しいが、教室の状況に応じて優先順位を考慮し計画的・段階的に更新を行っていく予定である。 教員の在席状況については、教職員の出退勤システムを活用し、MLC棟のサイネージ等で知らせるシステムを構築できないか現在検討中である。
■国家試験に関して 4月に始まるガイダンスより前に勉強を始めたい学生に向けて事前に使用する教科書などを教えてほしい。 模試をすべて一律ではなく、希望制での受験に変更できないか。 短期間でつめすぎている感覚があり、勉強する期間を考えて受けていきたい。 国試対策のスケジュールが定まっていないところが多く、固めておいてもらいたい。 国家試験に向けての取り組み方やコツなどを始まる前に先輩、教員などに話を聞くことができれば嬉しい。	教務委員会	学科ごとに対応が違うので、ここでは4学科に共通する内容で回答する。 ・各学科に国試対策のスケジュールを各学科の4年ガイダンス（あるいは学科によってはもう少し前）に知らせる。その際に教科書なども案内する。 ・模擬試験については、各学科の全体スケジュールにも関わるので、教員から目的と実施時期、ペースなどの説明も加えるようにする。 ・国試対策について、先輩からのアドバイスを設定している学科もある。学科によって可能かどうかわからないが、学生からの希望があることを伝え、前向きに検討していく。

下記、当日議論できなかった内容になります。		
■再試験料等の費用に関して 再試験料はどこに使われているのか、明確に提示してほしい。	教務委員会	再試験は、すべての科目で実施が義務付けられている試験ではない。再試験は本来しなくてもよい試験と位置づけられている。再試験料には、問題作成、監督、採点、手続きなど、そういったことが含まれており、その内訳をさらに詳細に示すことは難しい。
■学祭費の費用に関して コロナ禍で中止になった学祭費はどこに使われているのか、明確に提示してほしい。	学生委員会	中止になった際の学祭費については、全て持ち越しで次年度以降の学祭の予算として使用する。その他の費用として使われることは一切ない。
■試験の問題用紙について 試験問題を持ち帰れないため、答案がわからず復習ができない。 持ち帰らせてもらうか、試験に対するフィードバックを行ってほしい。	教務委員会	返却しているか、していないかは、科目によると思うが、返却しないと考えられる理由として、試験問題が先輩から後輩に受け渡され、学生がもらった試験つまり前年度の試験問題しか勉強しないなどの問題があり、返却することの弊害もあるからだと考えられる。 しかし、この件については、教員に申し出れば、特別な理由がない限りは閲覧と説明はしてもらえると思うので、科目ごとに担当教員に申し出ることを勧める。教務委員会を通して全教員に試験終了後に返却または閲覧可能であることの説明を授業内することを伝える。ただし、試験の時期、内容など諸事情により返却、閲覧できない場合もある.
■学業行事の日程や案内に関して 卒業式の日程や奨学金の案内連絡が遅く、仮予定が多いため早く決めて開示してほしい。 また、奨学金の案内に関しては複数日程を選択できるようにしてほしい。	事務センター	卒業式の日程の確定には、学内外の各関係個所との調整が必要なため時間がかかってしまうのが現状であるが、出来る限り早く確定できるよう努める。 奨学金説明会は、学科別・学年別に時間割内容を検討し、それぞれ空き時間に設定している。都合によりどうしても参加できない場合は、他の学科や他の学年の回に参加可能であることも案内している。また、正当な理由によりそれでも参加が難しい場合は、個別対応も行っているので、その際は事務センターに申し出ていただきたい。
■自習スペース 図書館のルールがあいまいで話をしている学生も多くいるので集中できない。	中央図書館運営委員会	ルールについては、今一度学生に周知するので、各自確認していただきたい。 現在も定期的に図書館職員による見回りを実施し、注意を行っているが、常時見回ることができない。 よりよい図書館利用のため、学生同士による注意をお願いできないか。図書館職員へ連絡でも構わない。
■自習スペース MLCの自習室の利用サイトがわかりにくく、予約だけされていて使用されていないことが 多く見られるのでルール徹底してほしい。 グループで勉強、情報共有する場として話ながら勉強ができる、スペースが欲しい。 空き教室などの開放ができないか。	学生委員会	予約の徹底については、以前から問題視されており、学生への啓発としてmanaba上に問題提起をしている。ただ、予約のキャンセルに関しては学生のマナー意識になるため、ルールで徹底するのは困難である。この点については学生の協力が必要である。 空き室の利用につては、コロナ禍においては制限していたが、徐々に使用可能となっている。ただ、使用に関しては各学科の先生の許可を必ず取り使用していただきたい。